

**記入例**

# 給水装置工事申込書

下記の給水装置工事を施工したいので給水条例第6条  
 なお、申し込みにあたり水道法及び給水条例を遵守し

この申込書は必ず白色の厚紙を使用してください。上下水道部 施設管理課 給水担当窓口で配布しています。

春日部市水道事業管理者 あて

年 月 日

水栓所在	春日部市	①	番地																		
申込者	住所 <small>(フリガナ)</small> 氏名	②	印																		
使用者	住所 <small>(フリガナ)</small> 氏名	③	印																		
地主	住所 <small>(フリガナ)</small> 氏名	④ ⑤	印																		
工事区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">1. 新設</td> <td style="width: 12.5%;">2. 改造</td> <td style="width: 12.5%;">3. 修繕</td> <td style="width: 12.5%;">4. 撤去</td> <td style="width: 12.5%;">用途</td> <td style="width: 12.5%;">⑥</td> <td style="width: 12.5%;">用</td> </tr> <tr> <td>水栓数</td> <td>台所</td> <td>浴室</td> <td>洗面</td> <td>トイレ</td> <td>湯沸</td> <td>散水</td> <td>洗濯機</td> <td>受水槽</td> <td>計</td> <td style="text-align: center;">⑦</td> </tr> </table>			1. 新設	2. 改造	3. 修繕	4. 撤去	用途	⑥	用	水栓数	台所	浴室	洗面	トイレ	湯沸	散水	洗濯機	受水槽	計	⑦
1. 新設	2. 改造	3. 修繕	4. 撤去	用途	⑥	用															
水栓数	台所	浴室	洗面	トイレ	湯沸	散水	洗濯機	受水槽	計	⑦											

設計年月日	・ ⑧	竣工年月日	・ ・
承認年月日	・ ・	検査年月日	・ ・
給水を受け る分担金	メーター口径	給水取り出し口径	取り出し区分
	⑨ m/m	⑩ m/m	配水管 ⑪ m/m より 給水管 ⑪ m/m より
分担金	円	第1バルブ迄	⑫ m
手数料	設計審査	1,000 円	・ ・
	竣工検査	2,000 円	・ ・

委任状	
委任事項	(1) 上記場所の給水装置工事に関する一切 (2) 上記に対する納付金納入に関する一切
委任代理人	⑬ 番地 印
委任者	⑭ 番地 印

部長

---

次長

---

法第19条  
技術管理者

---

課長

---

主幹

---

主査

---

受付

受付No, ..... 分担金收受No, .....  
水栓番号 第 ..... 号



# 申 込 書 作 成 要 領

## 1. 給水装置工事申込書

\*①水栓所在地・・・ 申込者が記入する。記入漏れはないか、位置図との相違がないかを確認すること。

(建築に伴う給水であれば建築確認申請書を参照する。)

\*②申 込 者・・・ 申込者が記入し押印する。記入、印鑑漏れはないか確認すること。

\*③使 用 者・・・ 使用者が記入し押印する。記入、印鑑漏れはないか確認すること。

\*④地 主・・・ 地権者が記入し押印する。記入、印鑑漏れはないか確認すること。

\*①～④は委任代理人である工事事業者は記入しないこと。

⑤工事区分 (委任代理人が記入すること。)

新 設・・・屋外工事及び新規給水を受けるための工事。

改 造・・・既存の給水装置を改造する工事。

修 繕・・・給水装置を修繕する工事。

撤 去・・・給水装置を撤去する工事。

上記に従い、それぞれ今回の工事が該当する番号に○印をすること。

⑥用 途 (委任代理人が記入すること。)

一 般 用・・・臨時用以外の目的で使用するもの。

臨 時 用・・・建設工事、興行、祭典等のために一時的に使用するもの。

上記に従い、それぞれ今回の給水目的が該当する用途する。

\* 屋外工事の場合、水使用を伴わないため、用途欄には記入しないこと。

- ⑦水栓数・・・ 使用目的別（数量記入欄の上欄を参照）に水栓の数量を正確に記入し、一番右の欄に総数を正確に記入すること。
- ⑧設計年月日・・・ 設計した日を記入すること。
- ⑨メーター口径・・・ 今回の工事により設置するメーターの口径を記入すること。
- ⑩給水取出し口径・・・ 今回の工事により埋設する給水管の取出し口径を記入する。既存で給水管が埋設されている場合その口径を記入すること。
- ⑪取出し区分・・・ 今回の工事により給水管を分岐する場合、分岐もとの配水管の口径と給水管の口径を正確に記入すること。
- ⑫第一バルブまで・・・ 今回の工事で給水管として利用するため分岐する場合、分岐される配水管から給水管の第一バルブ（乙止栓）までの平面距離を正確に記入すること。
- ⑬委任代理人・・・ 指定店名、住所、代表者名を記入し押印すること。
- ⑭委任者・・・ 申込者が記入し押印する。記入印鑑漏れはないか確認すること。

\*⑭については委任代理人である工事事業者は記入しないこと。

#### <注意事項>

\* 下記の条件に該当する場合、誓約書を添付すること。

メーター口径13mmの場合で水栓総数が4栓を超える場合。

メーター口径20mmの場合で水栓総数が13栓を超える場合。

メーター口径25mmの場合で水栓総数が26栓を超える場合。

\*個人の所有する給水管（市管理以外の配水管及び給水管）より分岐をする場合、分岐承諾書のコピーを添付すること。

\*位置指定道路や個人の土地に給水管を埋設する場合（位置指定道路等）、掘削及び埋設承諾書のコピーを添付すること。

## 2. 指定給水装置工事事業者施工承認申請書

- ①水栓所在地、②申請者、③使用者、④工事区分工事・・・申込書に記入されている各事項を記入すること。
- ⑤建物用途・・・・・・・・専用住宅、店舗、共同住宅等の建物用途を記入すること。（建築確認申請書を参照。建物がない場合、駐車場など敷地の利用用途を記入。）
- ⑥住 宅 名・・・・・・・・アパートなどの建物の名称がある場合、記入すること。
- ⑦住宅No・・・・・・・・分譲地などで分譲地番号がある場合、記入すること。
- ⑧メーター番号、⑨口径、⑩指針、⑪検満・・・既存のメーターがある場合、既存メーターの情報を記入すること。
- ⑫給水装置工事事業者名・・・・・・・・申込書の委任代理人を記入すること。
- ⑬給水装置工事主任技術者名・・・主任技術者名を記入する。主任技術者が選任されているか確認をすること。
- ⑭使用材料名、形状寸法等・・・メーターの一次側と二次側に分け、図面通りの材料を正確に記入すること。

### <注意事項>

\*改造工事（既設メーター有り）の場合、現地に設置されているメーターの情報を収集し、記入すること。

\*使用材料を記入する場合、政令第5条適合品か否かは確認し、正確に記入すること。

例) メーターボックス及び乙止栓筐は直結する給水器具でないので、政令適合品ではない。

別表第3（第20条関係）

1 給水管の管種記号

管種	記号	管種	記号	管種	記号
ダクタイル鋳鉄管	DIP	鋳鉄管	CIP	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	HIVP
硬質塩化ビニール管	VP	高密度ポリエチレン管	HPPE	ポリエチレン管	PP
架橋ポリエチレン管	XPEP	ポリプテン管	PBP	耐熱性硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-HV
ポリ粉体ライニング鋼管	SGP-P	硬質塩化ビニールライニング鋼管	SGP-V	鋼管	CP
ステンレス鋼管	SSP	亜鉛メッキ鋼管	GP	塗覆装鋼管	STWP
鉛管	LP	ライニング鉛管	PbTW	石綿セメント管	ACP

2 弁栓類その他の図示記号

名称	図示記号	名称	図示記号	名称	図示記号
制水弁		私設消火栓		管の交差	
止水栓		防護管		メーター	
逆止弁		口径変更		丙止水栓	T
スリースバルブ					





3 給水栓類の符号(平面図)

種別	符号	種別	符号
一般用具		その他	

4 給水栓類の符号(立面図)

種別	符号	種別	符号	種別	符号
一般用具(給水栓類)		一般用具(シャワーヘッド)		一般用具(フラッシュバルブ)	
一般用具(ボールタップ)		その他(湯沸器、ウォータクーラー)			

5 受水槽その他の記号及び符号

名 称	受水槽	高架水槽	ポンプ	増圧ポンプ
記号及び符号				

6 工事別の表示方法

名 称	新設	既設	撤去	廃止
線別	黒色実線	黒色破線	黒色実線を斜線で消す	
記入方法	